

i-Repo Scan 機能のご利用時の Scandit 社サーバーへの認証について

株式会社シムトップス

i-Reporter 開発&テクニカルコンサルテーショングループ

●概要

i-Reporter アプリにおいて、i-RepoScan 機能をご利用される場合、以下のタイミングで、機器情報を登録及び確認するために、i-Reporter アプリから Scandit 社の認証サーバーへインターネットを経由して下記情報の通信が行われます。

※これは、i-Reporter アプリに i-RepoScan 機能を実装するために使用している Scandit 社 (<https://www.scandit.com/jp/company/>) の ScanditSDK のライセンス規約によるものです。

※この Scandit 社サーバーへの認証について、事前にご了解の上、i-Repo Scan 機能の導入を宜しく願います。

●送信のタイミング

- 1) 帳票起動後の初回スキャン時

●インターネットアクセスができない環境のお客様

インターネットへのアクセスが出来ない環境にあるお客様の場合は、i-Reporter アプリから Scandit 社のサーバーへのアクセスの動作が内部的に行われますが、たとえアクセスが出来なくても、何も問題なく、そのまま使用が可能ですのでご安心ください。

また、この場合でも、i-Reporter アプリ上に何かウィンドウやメッセージが表示されたりすることなく、あくまで内部的な動作であり、正常にご利用を継続いただけます。

●送信される情報

下記 a.-f. の 6 つの情報が送信されます。

a. Installation Identifier

Scandit Data Capture SDK が生成するユニークな識別子であり、Apple の UDID、IMEI や MAC アドレスとは異なります。また、Apple の UDID、IMEI や MAC アドレスは一切送信されません。

b. ライセンスキー識別子

i-Reporter アプリが使用するライセンスキーを一意に識別するための識別子です。

c. モバイルデバイスのモデル

例：「iPhone 13」などのモデルです。

d. アプリケーションの識別子

例："jp.example.i-Reporter" などの i-Reporter アプリで使用しているということを判別するための識別情報です。

e. 携帯電話の OS とバージョン

f. ScanditSDK のリリースタイプとバージョン

ScanditSDK の内部ビルドを識別する情報です。

これら a.-f.の 6 つの情報は、全て暗号化されて Scandit 社サーバーに送信されます。
スキャンしたバーコード内容が送られることは、一切ありません。
また、送信元の IP も匿名化されます。
暗号化されたメッセージの合計サイズは、わずか数百バイトです。

●**情報が送信される Scandit 社サーバーのホスト名**

scandk1.scandit.com, scandk2.scandit.com, scandk3.scandit.com, scandk4.scandit.com,
scandk5.scandit.com, scandk1.mirasense.com, scandk2.mirasense.com, scandk3.mirasense.com,
scandk4.mirasense.com, scandk5.mirasense.com, sdk-api.scandit.com (port 80 and 443)

以上